

地域ケア会議

鹿児島市地域包括支援センター 谷山南

【計画】

作成担当者： 平山 真也

開催日時	平成30年09月19日 15:00 ~ 17:00	開催場所	谷山市民会館 2階 会議室
参加者	居宅介護支援事業所：15人、地域包括支援センター職員：4人		
	総数 19人		
内容	テーマ	勉強会/事例検討会	
	目的	個別課題の解決、地域包括支援ネットワークの構築	
	概要	<p>(検討テーマ)</p> <p>○平成30年度第2回事例検討会の開催にあたり、介護保険改正に伴う情報の共有や地域での協力体制を強化することを目的とする。第2回事例検討会はAグループを中心に開催。</p> <p>(検討項目)</p> <p>①事例検討会：「メインで関わる血縁間で意見が異なるケースの対応」について事例概要、質疑応答、支援の方向性の確認。</p> <p>②谷山南圏域の1事業所にケアマネジャーが2名増えたため、谷山南圏域内の居宅支援事業所在籍名簿の差し換えを行う。</p> <p>③生活支援におけるインフォーマル資源の検討。谷山南圏域での社会資源について個人ワーク、グループワークを行う。包括支援センターが把握している情報の提供と居宅支援事業所が把握している情報の共有を図る。生活援助中心型サービスの進捗状況。</p>	

【結果】

開催日時	平成30年09月19日 15:00 ~ 17:00	開催場所	谷山市民会館 2階 会議室
参加者	居宅介護支援事業所：15人、地域包括支援センター職員：4人		
	総数 19人		
内容	<p>○事例を通して、誰が困っているか、誰を尊重していくのか、キーパーソンを1人に絞る必要がない事、複数いるキーパーソンに対してそれぞれの役割を決めることが大切であること、改めてキーパーソンとは何かと参加者がより理解を深めることに繋がった。</p> <p>○包括支援センターより提示した社会資源について、居宅支援事業所として介護保険サービスに偏りがちであるが今回知り得た資源を積極的に活用して支援の幅を広げていきたいと意見があった。</p> <p>○参加した居宅支援事業所のケアマネジャーそれぞれが資源発掘の必要性と資源活用の重要性を実感して頂けた。</p> <p>○地域の社会資源を活用することが、貴重な資源の存続にも繋がることを再認識出来た。</p> <p>○谷山南圏域内の居宅支援事業所においては、生活援助中心型サービスのケースは多くないが、生活援助中心型サービスについて普段から他事業所と情報の共有を図っていることがわかった。</p>		
今後の課題など			